



まほろばの丘から



令和6年2月1日 文責 校長 江口 尋信

宿題をするのはなぜ？

「なぜ宿題をしなければならないのか」一人の児童からの質問です。お子さんから「なぜ宿題をしなければならないの？」と尋ねられたら、保護者の皆さんならどう答えますか。わたしは、次の3つのことを話しました。

- ① 人の記憶には限界がある。学校で学習しても、一定の時間が経てば忘れてしまう。そこで、時間をおいて、学校で学習したことを家庭で再度学習する。そうすることで、習ったことをおぼえていくことができる。
- ② これから中学校や高等学校などへ進学していったとき、家庭で、自分で学習できることが大切になってくる。宿題に取り組むことで、家庭で学習する習慣が身に付く。
- ③ 宿題をするとき、何をするのか、どのようなやり方であるのか、いつまでに提出しなければならないか、どれくらいの時間がかかりそうか、いつ宿題をするのか等、先生からの指示を正しく理解し、見通しをもち取り組む必要がある。つまり、宿題に取り組むことで自己管理能力が育つ。

ごくわずかですが、全国には、宿題を廃止した小・中学校があります。しかし、知っている例で言えば、宿題をなくしたといっても家庭学習をなくしたわけではありません。例えば、自主学習を課したり、ミニテストや再テストのテスト勉強に取り組ませたりするなど、やはり何かしらの形で家庭学習に取り組むしくみは残っているようです。「きまりだからやりなさい。」ではなく、なぜそのことを行う必要があるのか「趣意」(目的)を丁寧に伝えることも大切なのだと思いました。

子どもの姿から学ぶ

先日、朝の登校時間に校門に立っていたときのことで、はじめは曇りだったのですが、途中から雪が降り始めました。寒さを我慢しつつ子どもたちと挨拶を交わしていると、1年生の女の子が、「傘持ってないの？」と言って、わたしに傘を差し出して渡そうとしました。わたしは驚き、「ありがとう。でも、自分が濡れるでしょう。」と言って傘を返しました。こんな雪が降り寒い中、自分のことはさておき、相手を思いやる姿に感動をおぼえました。

「子どもは心が未発達であり、豊かな心を育てていく必要がある。」わたしたちはこう考えがちですが、大人こそ、責任をもたず常に誰かのせいにして責めたり、依存・執着や嘘・ごまかし等をおぼえたり等、心の退化を招くことも多々あるそうです。子どもたちの中にある素晴らしいものに謙虚に目を向け学びたいものですね。

SNSの使い方について気になることがあります。子ども同士がライングループを形成し閉鎖的なグループをつくったり、学級や級友について不適切な内容を書いたりするといったことがありました。また、体調を理由に欠席している子ども同士が、日中にオンラインゲームでつながり、ゲームに興じているということもあっています。スマホやタブレット等は便利ではありますが、ルールを決めて適切に利用していく必要があります。子どもにスマホ等を持たせるにあたっては、お子さんと使用するルールも決めていただけたらと思います。よろしくお願いします。